

Harmony

NO.231
2023.1月号



関西八一モニ連盟会報

関西ハーモニカ連盟 組織 2023年1月1日現在

常任理事	理事長	吹上 晴彦	〒602-8488 京都市上京区真倉町757-107 電話 (FAX) 075-411-1531、090-8482-4806	19人
	副理事長 (兼)事務局長	源馬 英人 (事務局次長)	〒520-2101 大津市青山8-6-14 電話 (FAX) 077-549-3329 角野まゆみ	
	副理事長 (兼)事業部長	梁木 進 (コンテスト委員長) (ハモ祭り委員長) (活性化促進委員長)	〒599-8116 堺市東区野尻町192-20 電話 072-284-8808、FAX 072-286-4890 梁木 進 中崎利枝子 (兼)、松本孝司 鐘ヶ江義行 富久鉄男、西本豪介 (兼)、松本千佳子 (兼) 小川未佐子 新井尚子 (兼)、住田陽子 (兼) (補佐理事: 小野浩子、雑賀健)	
	編集局長	もり・けん (編集局次長)	〒594-0041 和泉市いぶき野4-1-4-209 電話 (FAX) 0725-57-7235 岩本洋之 鐘ヶ江義行 (兼)、筒井茂義、中崎利枝子 (補佐理事: 北村サユリ、竹内寿子、西尾好美)	
	研修部長	小林 由美子	〒662-0046 西宮市千歳町7-42 電話 (FAX) 0798-22-1844 新井尚子、住田陽子、西本豪介 (補佐理事: 小林希久子、永野富康)	
	組織部長	丸山 茂生 (組織部次長)	〒666-0122 川西市東多田3-4-1-703 電話(FAX) 072-793-7164 松本千佳子	
	会計部長	木ノ山 洋子	〒617-0006 向日市上植野町南小路26 電話 (FAX) 075-921-6588 角野まゆみ (兼)	
	理事 事 (50音順)	青木鈴子、稻垣裕子、井上孝子、内田常雄、岡本修子、小河由美 小野浩子、金丸寿夫、加納克芳、喜多創平、北村サユリ、木原淳 黒谷マス子、源馬恵子、小林希久子、小林美津子、雑賀健、佐藤長 柴田正之、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口史郎、田口幸輝 竹内寿子、谷口昌子、中谷晃、永野富康、新山ミツ子、西尾好美 新田真理、服部恵美子、羽田勝彦、羽原伸示、林和子、福島隆志 藤野つるみ、保理江元子、松岡郁子、松本忠義、渡辺晃志、和谷篤樹	42人	
	会計監査	柴田正之		1人
	常任顧問 (50音順)	梅田恒弘、後藤貞男、寺村安雄、仲村眞、村上博昭、吉村則次		6人
	顧問 (50音順)	(該当者なし)		
	特別顧問 (50音順)	斎藤壽孝、十河陽一、徳永延生、水野隆元、和谷泰扶		5人

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <https://kansai-harmonica.org/>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000円（団体は1団体1律1000円）

年会費（1月から12月）：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員（30歳未満の方）1000円

団体会員（5名以上の団体で1名につき）1000円、贊助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きな方なら、
吹く方、吹かない方、上手な
方、下手な方、上手になりた
い方、ニュースだけほしい方
等、どなたでも入会できます。



CONTENTS

目次

関西ハーモニカ連盟会報 Harmony 第231号

(2023年1月号)

発行部数 400 毎年1、4、7、10月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

年頭ご挨拶「丹精を込めて」	理事長 吹上晴彦	2
関西ハーモニカ連盟 2023年度「定時総会」のご案内	事務局長 源馬英人	3
組織部・会計部からのお願い	組織部長 丸山茂生 会計部長 木ノ山洋子	4
関西ハーモニカ連盟への入会ご案内	会計部長 木ノ山洋子 組織部長 丸山茂生	5
《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書	組織部	6
《団体・団体会員》申込書（新規・継続）	組織部	7
2023年度 研修会のご案内	研修部長 小林由美子	8
事務局便り「常任理事会報告」 組織部「会員異動のお知らせ」	事務局 角野まゆみ 組織部長 丸山茂生	10
「第32回 関西ハーモニカ祭り」を終えて	事業部 ハモ祭り実行委員会 鐘ヶ江義行	11
ハーモニカ カレンダー	編集局	14
教室音便り「南風ハーモニカ」	梅田明宏	15
教室音便り「堺ハーモニカ・アンサンブル」	吉村則次	16
第3回アンサンブル・ハモ二館 ハーモニカコンサート 開催御礼	吹上晴彦	18
ハーモニカをポケットに⑧ 敦賀～糸魚川 320kmの旅	木原 淳	20
発表会・演奏会対策① ～発表会や演奏会などの本番 に向けての練習や準備について～	北村サユリ	22
大阪道頓堀並木座で ハーモニカ与中国琵琶のコラボ演奏	寺村安雄	24
編集後記		25

理事長スローガン 「丹精を込めて」

関西ハーモニカ連盟 理事長 吹上 晴彦



我々は「令和」の幕開けより新型コロナ感染症に翻弄されました。そのような状況にもかかわらず会員みな様の連盟へのお力添えに感謝申し上げます。

例年、年頭のご挨拶は、2月11日定時総会での冒頭挨拶を会報に掲載していたのですが、コロナ禍でイベント寄稿も少くなり、年間に何度かご挨拶文を載せるようになっています。

私は、1979年連盟創立メンバーの末端に加わり44年となります。理事長を拝命して、その都度、ハーモニカ音楽への想いを話してまいりました。いつの頃からか理事長スローガンを伝えるようになり、より一層の想いを掲げました。初めてのスローガンは「愚直に一つを求めて」でした。以来、年頭に会報が発行される時は毎回スローガン示し、いま、それらを読み返して、皆様に伝えてきたことに間違はないとの思いを強めています。

人は、その場に身を置いていると、その渦中で立ち位置が分からなくなるものですが、今の状況を見渡すと芸術に携わる人々には大変な時代です。それだけではなく、でたらめな情報の中で混迷する世情、自分よりこれから日本を担う子や孫に何が残せるのかを自問自答する日々です。

人生は少年期、青年期、壮年期、中年期、高年期と分かれるが、連盟会員のほとんどが高年期です。関西ハーモニカ連盟においても後進に何を伝えるのかが問われる時です。私は母の導きで少年期よりハーモニカの先生につき、高年期の今も続けています。嫌なことがあったとき、うれしいときにハーモニカを吹いていました。

「水れる音楽」と言われる建築、建築士として建物の設計を生業に半世紀、建築物においてもその作品には設計者の取り組む姿勢が現れます。同様に演奏への取り組みにも人柄が出て、ハーモニカの音色として現れます。ハーモニカ音楽においてプロの音楽家に接する日々、芸術の一端に関わる中で、いつも心がけていることは、丹精に取り組みたいということです。私に逆境という言葉があるならば、肉体的にも精神的にも2022年の多くの出来事がかつて経験したことのない、まさしく逆境の一年でした。しかし、それらの苦悩により見えていなかったものも分かり、心身が練られていきました。ハーモニカ演奏はもとより全てにおいて、いつも丹精を込めて生きたい、それが次につながることになるのではないかと念います。

関西ハーモニカ連盟の理事長スローガン「丹精を込めて」です。

楽しく、楽しく、楽しみながら、皆まとご一緒に歩みたいと願っております。令和5年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

関西ハーモニカ連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟 2023年度『定時総会』のご案内

関西ハーモニカ連盟 理事長 吹上晴彦
担当 事務局長 源馬英人

2023年度の定時総会を下記のとおり開催致しますので、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：定時総会 2023年2月11日
(土曜日・建国記念の日) 午後3時より

場所：北京料理 徐園
(大阪市西区江戸堀1-15-30、電話：06-
6448-5263)

- 議題：1. 2022年度事業報告
- 2. 2022年度収支決算報告
- 3. 2023年度事業計画
- 4. 2023年度予算
- 5. 年会費増額
- 6. その他

◎総会欠席の場合は、一切の議決権を理事長に委任されたものと致します。

◎団体会員は原則として、議決権を有する代表者のご出席をお願い致します。

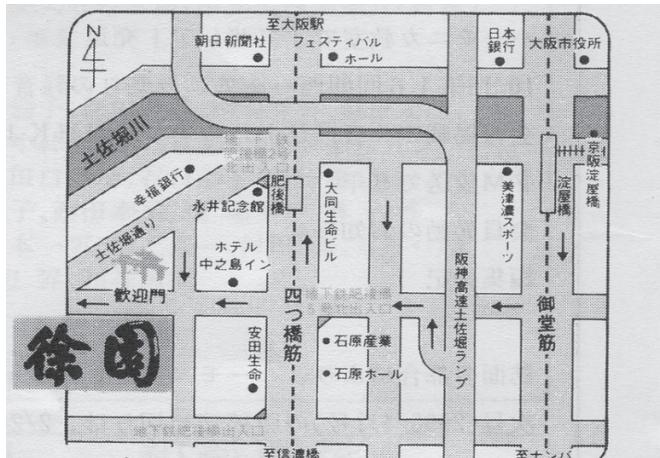
◎総会終了後、懇親会を同所で開催致しますので、ぜひご参加ください。

(会費6,000円、午後5時開始予定です。諸物価高騰のため懇親会費を増額しました。)

◎年会費及び懇親会費は、同封の振込み用紙にて2023年1月20日までにお支払いください。

◎出欠のご返事は、同封のハガキにて2023年1月20日までにお知らせください。（締切厳守）

※コロナウイルス感染の状況により、総会を中止する可能性があります。その場合は出席のご返事をされた会員にお知らせします。



地下鉄四つ橋線 肥後橋駅

2番出口より徒歩1分

・京阪電車中之島線 渡辺橋

＜お願い＞

◎年会費・懇親会費のお支払い、及び出欠のご返事は、必ず期限内にお願い致します。

なお、総会会場での現金によるお支払いは受け付けていません。

◎毎年、「振込み忘れ」の問題が発生しています。ご協力をお願い致します。

◎やむを得ぬ事情により退会される方は、同封のハガキにてその旨ご連絡ください。

※新入会員を含め、すでに2023年度会費を納入済みの方、及び特別顧問の先生方は、同封の振込み用紙についてご放念ください。

《組織部・会計部からのお願い》

新年度を迎えるにあたり、次の4点についてご協力をお願いいたします。

1 - ①「個人会員・準会員・賛助会員 登録（継続）」

- 継続者は、この会報に同封の葉書の継続に○をつけてご返送ください。
- 新年度会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を1月20日までに会計部へお振り込みください。会費納入期限が1月20日ですので、ご理解とご協力を
お願いします。

万一、2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

1 - ②「個人会員・準会員・賛助会員 登録（新規入会）」

- 6ページに記載の「《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書」に必要事項をご記入の上、必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 入会金（新規登録時のみ1,000円）と年会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）は会計部へお振り込みください。

2 - ①「団体・団体会員 登録（継続）」

- 「団体会員」は、前年度からの継続者をも含めて、年度毎に登録しなければなりません。
7ページに記載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」に団体会員氏名ほか必要事項をご記入の上、1月31日までに必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 年会費（団体会員1人につき1,000円）は、1月20日までに会計部へお振り込みください。
会費納入期限は1月20日ですのでご理解とご協力を
お願いします。

万一、2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら団体が退会扱いになりますのでご注意ください。

2 - ②「団体・団体会員 登録（新規入会）」

- 7ページに掲載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」に会員氏名ほか必要事項をご記入の上必ず組織部へ郵送もしくはFaxをお願いします。
- 入会金（団体新規登録時のみ1,000円）と年会費（団体会員1人につき1,000円）は、会計部へお振り込みください。

(組織部) 「個人会員」「準会員」「賛助会員」「団体・団体会員」申込書の送り先

(〒666-0122) 川西市東多田3-4-1-703 丸山茂生 Tel/Fax 072-793-7164

(会計部) 「入会金」「年会費」の振込先

振替口座 番号00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

組織部長 丸山 茂生
会計部長 木ノ山洋子

関西ハーモニカ連盟への入会 ご案内

《ハーモニカにご関心のある方ならだれでも・いつでも入会できます。》

関西ハーモニカ連盟の主な活動

- ・ハーモニカコンサート（ハモ祭り）
- ・ハーモニカコンテストの開催
- ・ハーモニカ情報を満載した会報「Harmony」を年4回（1. 4. 7. 10月）発行
- ・懇親会、研修会、研究会、合宿、各種交流会等の開催
- ・詳細は会報「Harmony」やホームページをご覧ください

《入会金と年会費》

入会金 (個人・準会員) 1,000円

〃 (団体) 1団体一律に初回のみ 1,000円

年会費 (個人会員) 5,000円

〃 (準会員) 1,000円 若手育成のため30歳未満の方に正会員並みの待遇をします。

〃 (団体会員) 1名当たり 1,000円

〃 (賛助会員) 1団体当たり 10,000円

《入会方法》

- ・6ページ、7ページに掲載の入会申込書に所定事項を記入し、入会金および会費の振込証（コピー）を添付して組織部へお申込みください。
- ・団体は5人以上でご加入ください。（個人会員・準会員の重複加入も認める。）

《入会申込書送付先》(FAX,E-mailでも可)

(〒666-0122) 川西市東多田3-4-1-703 丸山茂生

Tel/Fax 072-793-7164

E-mail: maruy_ma@ksh.biglobe.ne.jp

《入会金・年会費送金先》

下記の口座へ郵便振込みで送金をお願いします。

振替口座 番号 00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

会計部長 木ノ山 洋子 Tel/Fax 075-921-6588

組織部長 丸山 茂生 Tel/Fax 072-793-7164

理事長 吹上 晴彦 殿

《個人会員》《準会員》《賛助会員》 入会申込書

(上記、申込したい会員を○で囲む)

年 月 日

(ふりがな) 氏名			(性別) 男 女
			準会員の方は年齢 歳
住所 (ふりがな)	〒 -		
	府・県	郡・市	町・村
電話・FAX	- -	FAX	- -
携帯	- -		
e-mail			
ホームページ			
《非公開事項》	番地・電話番号の公開を	①認める	②認めない
ご入会の動機			
ご紹介者			
生年月日	T. S. H 年 月 日生	(ハーモニカ経験年数) 年	
加入教室・演奏団体			
主にご使用のハーモニカ	複音 クロマチック	10ホールズ	合奏ハーモニカ ()
加入他団体名(○をつけてください)	全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、F.I.H、N.H.C、ハーモニカ振興会、その他()		
		(連盟への期待・要望など)	
(入会金・年会費 振込証のコピー)			
貼付			

理事長 吹上 晴彦 殿

《団体・団体会員》申込書（新規・継続） 年 月 日
 （新規か継続かを○で囲む）

団体名	(ふりがな)		
代表者名	(ふりがな)	性別	代表者は 個人会員 団体会員 準会員
住所	〒 -		
	府県		
電話・FAX	- -	FAX	
携帯・Email	- -	E-mail	

振込金額	入会金(初回のみ) 1,000円 ／ 年会費 円 / 合計 円		
団体人数	人		
(ふりがな) 会員氏名			
(欄が 足りなければ 別紙へ)			
(入会金・年会費 振込票のコピー)			
貼付			

2023年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2023年度も下記の内容で研修会を実施いたしますので、奮ってご参加ください

会 場： 愛日会館

大阪市中央区本町4-7-11 (地下鉄御堂筋線本町駅 4号出入口)

電話 06-6264-4100 (地下鉄四つ橋線本町駅25号出入口)

研修時間： 14:00～16:30（毎回） (地下鉄中央線 本町駅 17号出入口)

参 加 費： 会場にてお支払い下さい。

会員 1,500円、非会員 2,500円

人 数： 50名（先着順、予約が必要です）

申 込 先： 西本豪介 FAX 06-6785-7775

第1回

<日 程> 5月21日（日）

<講 師> 小林 由美子（関西ハーモニカ連盟研修部長）

小林 希久子（ハーモニカ指導者）

<内 容> バス、コードを中心にアンサンブルのレベルアップをめざしましょう！

アンサンブルのメンバーも歓迎します。

<持参していただくハーモニカ> C、C♯、Am、またはクロマチック

バス、コードを持っておられる方はお持ちください。

<小林由美子プロフィール>

幼少より父・小林忠夫から手ほどきを受ける。大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。幼稚園、保育園の器楽指導や編曲、大阪音楽大学付属音楽院ほかカルチャー教室でハーモニカ指導を行う。ハモニ館西宮器楽教室を主宰。

<小林希久子プロフィール>

大阪音楽大学短期大学部音楽科ピアノコース卒業。第12回西日本ハーモニカコンテスト複音ソロ部門第1位・総合グランプリ受賞。第39回F.I.H JAPANハーモニカコンテスト複音ソロ部門第1位受賞。現在各ハーモニカ教室で指導を行っている。

第2回 7月30日（日） <講 師> 寺澤ひろみ（複音ハーモニカ奏者）

第3回 9月10日（日） <講 師> 水野 隆元（複音ハーモニカ奏者）

第2回目以降の研修の詳細は、会報4月号でご案内させて頂きます。

*定員を超えた場合は、参加をお断りしますので早めに申し込み願います。

*キャンセルされる場合は早めにご連絡ください。当日のキャンセルについては、会費を頂戴しますのでご了承ください。

*申し込み書は次頁のとおりです。

申込先 西本豪介 FAX 06-6785-7775

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書(個人)

(会員番号) _____ (氏名) _____

(連絡先電話) () _____

ご希望の回を○で囲んで下さい

第1回、第2回、第3回 研修会に参加する

関西ハーモニカ連盟 研修会申込書(団体)

(会員番号) _____ (教室・サークル名) _____

(代表者名) _____

(連絡先電話) () _____

ご希望の回を○で囲んで下さい

第1回、第2回、第3回 研修会に参加する

団体会員氏名欄

参加者計 _____ 名

事務局便り

角野まゆみ

2022年第8回常任理事会報告

日時 2022年9月26日（月）17時より

場所 ふんふんさろん

議事

1. 報告 理事長および各部局

2. 議題

(1) 第32回関西ハーモニカ祭りについて(最終確認)

(2) ホームページ利用による各種申込について（継続審議）

(3) 第14回西日本ハーモニカコンテストについて

(4) 会員増強策について（継続審議）

2022年第9回常任理事会報告

日時 2022年10月25日（火）～29日（土）

場所 （メール会議）

議事

1. 議題

(1) 2023年度定時総会について

(2) 会計監査の交代人事について

(3) 第14回西日本ハーモニカコンテストについて

(4) 連盟会費（個人／団体）および各種行事の会員参加費について

(5) 会員増強について（継続審議）

会員異動のお知らせ（2023年1月号）

2022.11.15日現在

組織部長 丸山茂生

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申出があれば個人情報（住所・電話番号等）を非公開に出来ることが2004.7.12の常任理事会で決議され、また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにすると決まりました。会報230号（2022年10月号）でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。（敬称略）

（個人会員入会）

通番	会員番号	氏 名	〒	住 所	受付日
1	750	西川 勉	731-	広島市	2022.10.25

（団体代表者変更）

通番	団体番号	団 体 名	(新) 代表者名	(旧) 代表者名
1	100	垂水ハーモニカ友の会	中村 純	渋山 晴夫

2022.11.15現在の個人・地域外個人・準・賛助・特別の合計213名、団体会員は389名（38団体）です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

「第32回 関西ハーモニカ祭り」を終えて

ハモ祭り実行委員会 鐘ヶ江義行

第32回関西ハーモニカ祭りは、2022年10月15、16日の両日に堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺の小ホール)にて開催しました。出演82組、出演者395名(スタッフの出演者含む)、運営専任スタッフ20名、観客数80名、来場者延総数は495名でした。演奏会は両日ともプログラム通りに恙無く終了いたしました。

当日は演奏プログラムに従って定刻に開始しました。出演者の方々は日頃の練習成果を遺憾なく発揮されたことと思います。朝早い時間での演奏、また終盤での演奏をされた方々、そして最後まで演奏をきいてくださった観客の皆様にお礼を申し上げます。

本祭りに後援戴いた全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ハーモニカ振興会、協賛戴いた(株)トンボ楽器製作所、鈴木楽器販売(株)大阪支店、(株)全音楽譜出版社大阪支店の皆様に感謝申し上げます。

スタッフは朝9時に現地に集合して、受付、案内、舞台設営、音響機器の確認等をいたしました。更にコロナ対策の実施、そして演奏後の片付けと、二日間大変お疲れ様でした。今年も、マスク着用、大声を控える、3密を避ける等、会場側の新型コロナウィルス感染防止ガイドラインに準拠した対策を行いました。会場は空調機を常時稼働させて換気を行っていました。更に会場の長時間密閉を避けるため、1時間毎に演奏休憩時間を設けて会場扉をオープンして場内の空気を入れ替えました。

今回の出演応募要項は、コロナ以前の条件に戻し、アンサンブルの演奏を可能にしました。アンサンブルの出演で第31回と比較して少し華やかになりました。更にピアノ、中国琵琶、三味線、カラオケ伴奏や男性・女性のボーカルまであり、雰囲気は一段と盛り上りました。クロマチックハーモニカ演奏は第31回より大幅に増えました。

演奏会終了後、来場者から「舞台下手の人声が、漏れていた」と指摘がありました。人声漏れの防止は、舞台入場側と退場側に音響反射壁を設けることで改善できます。音響反射壁を不使用とした理由は、費用が大幅に増加することと、入退室扉開閉に伴う出演者の出入りを滞留させることです。どなたも舞台近辺での私語を慎み、今後ともできる限り静かにお願いします。

第33回関西ハーモニカ祭りは2023年10月7、8日「なら100年会館中ホール」で開催します。会員皆様の参加を期待します。



ふれあいハーモニカ・島本



杉本實実さん



依藤昌勝さん



中塚さよ子さん



山中康幹さん



宗満智子さん



岡本幸子さん



坂田美弥子さん



菅村一雄さん



高橋睦世さん



眞鍋深智子さん



藤原康子さん



村上浩一さん



クスクス



尼崎ハーモニカエコーズ
カルテット



シングルフレンド



ハーモニカ・アンサンブルゆう・もあ～ず

「舞台横断垂幕ポスター記載ミスのお詫び」

舞台の横断垂幕に第32回関西ハーモニカ祭りとすべきところ、第33回と表記しました。これは横断垂幕ポスター作成ミスであります。更に場内でも第33回とアナウンスしました。ここに今回の回数値は第32回と訂正・統一します。お詫び申し上げます。



アバンドーネ・ファイト



茨木ハーモニカクラブ



NHK 神戸マリーンハーモニー



向日ハーモニカクラブ



甲風アンサンブル



ハーモニカ カレンダー

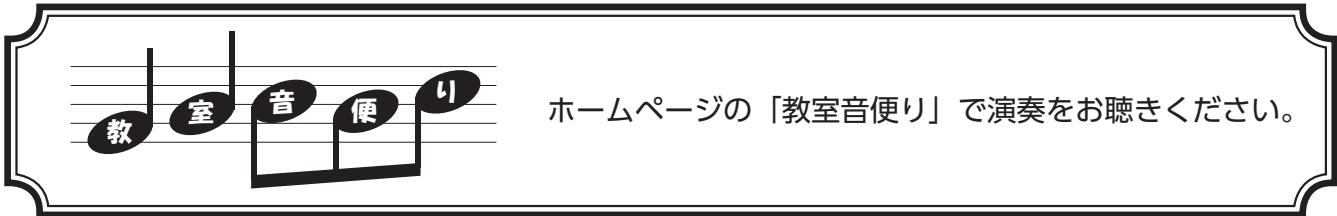
2022年11月末現在 関西ハーモニカ連盟 編集局

日 時	主催者・演奏会の名称	会場・費用・お問い合わせ先
12月 16日(金) 12月 19日(月) 17:00～19:00	徳永教室主催 徳永延生と Jacob Koller ライブ 連盟常任理事会	大阪市北区 ライブハウス E.S.Arrow 有料 【問】 徳永延生 TEL 06-6934-7266 大阪市北区 ふんふんさろん
12月 20日(火) 13:30～	全日本ハーモニカ連盟主催 第13回アジア大会入賞者コンサート	神奈川県 海老名市文化会館ホール 有料 当該ホームページを参照ください
2023年		
1月 21日(土) 1月 23日(月) 17:00～19:00	徳永教室主催 徳永教室発表会 連盟常任理事会	大阪市北区 ライブハウス E.S.Arrow 有料 【問】 徳永延生 TEL 06-6934-7266 大阪市北区 ふんふんさろん
1月 29日(日) 11:00～	全日本ハーモニカ連盟主催 第2回全日本ハーモニカ演懐コンクール	東京都荒川区 ホテルラングウッド(サニーホール) 当該ホームページを参照ください
2月 11日(土) 15:00～	関西ハーモニカ連盟主催 2023年度『定時総会』(懇親会含む)	大阪市西区 徐園 懇親会有料 (3ページ参照)
2月 12日(日) 10:30～17:00	H企画主催 ハデコン・コンサート	大阪市東淀川区 新大阪ココプラザ 【問】 梁木進 090-8655-6045
2月 24日(金) 19:00～	アトリエブリランテ主催 錦織のり子 クロマティックハーモニカリサイタル	京都市上京区 京都府立文化会館 有料 【問】 アトリエブリランテ 050-5242-7907 (錦織のり子)
3月 12日(日) 13:00～17:00	木原教室主催 第19回ハーモニカの集い	宇治市 ふりーすぺーす宇治日和 入場無料 【問】 木原淳 0774-23-6631
5月 21日(日) 14:00～16:30	関西ハーモニカ連盟主催 第1回連盟研修会 講師:小林由美子、希久子	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】 西本豪介 FAX:06-6785-7775 (8ページ参照)
6月 4日(日)	日本ハーモニカ芸術協会 関西支部連合会定期演奏会	宇治市 宇治文化会館小ホール 【問】 岩本洋之 0742-46-7850
7月 16日(日) 11:00～17:00	関西ハーモニカ連盟主催 第14回西日本ハーモニカコンテスト	堺市堺区 サンスクエア堺 有料 【問】 梁木進 090-8655-6045
7月 30日(日) 14:00～16:30	関西ハーモニカ連盟主催 第2回連盟研修会 講師:寺澤ひろみ	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】 西本豪介 FAX:06-6785-7775
9月 10日(日) 14:00～16:30	関西ハーモニカ連盟主催 第3回連盟研修会 講師:水野隆元	大阪市中央区 愛日会館 有料 【問】 西本豪介 FAX:06-6785-7775
10月 7日・8日 (土・日) 両日	関西ハーモニカ連盟主催 第33回関西ハーモニカ祭り	奈良市 なら100年会館 【問】 鐘ヶ江義行 077-594-1374

(敬称略)

(注) 新型コロナウイルス感染対策のため入場制限や、延期や中止になる場合があります、主催者に確認してください。

関西ハーモニカ連盟ホームページもご覧ください <https://kansai-harmonica.org/>



ホームページの「教室音便り」で演奏をお聴きください。



南風ハーモニカ

練習場所	堺市総合福祉会館（堺市南瓦町2-1）
指導者	寺村安雄先生
代表者	梅田明宏
練習日	第2・4木曜日 10:00 ~ 12:00
会員数	10名



島育ち ▶

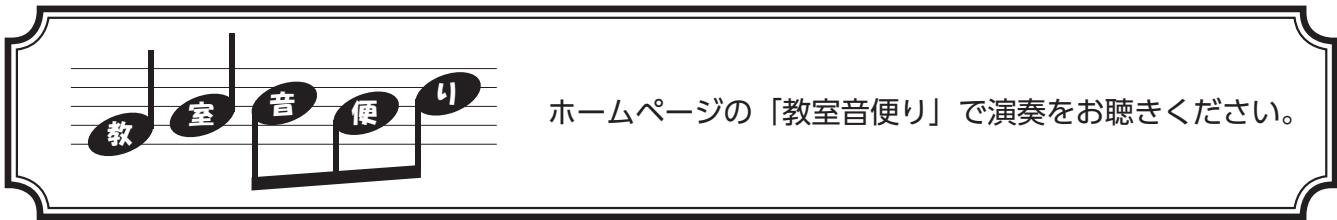
2022年10月16日フェニーチェ堺、第32回関西ハーモニカ祭りで演奏しました。

南風ハーモニカは、2001年に立ち上げました。男性5名、女性5名で月2回レッスンしています。曲は童謡、シャンソン、ラテン、タンゴ、歌謡曲、クラシック、ムード音楽等を楽しんでいます。

この2年程はコロナで活動を停止していました。イベントとして、年2回の野外学習、食事会を兼ねてのメンバーによる発表会、クリスマスコンサート、新年会で交流を深めています、更に地域区民音楽会への出演、ケアセンターの慰問等の活動をしています。

最近はバスハーモニカ・コード
ハーモニカを取り入れたアンサンブルに挑戦しています。定例練習日だけではなかなかレッスンが思うように行きません。アンサンブルメンバーの自主レッスン等をしています。メンバーが一人ひとり楽しんで、いい汗をかいている今の南風です。第32回関西ハーモニカ祭りに初出演しました。





ホームページの「教室音便り」で演奏をお聴きください。



堺ハーモニカ・アンサンブル

代表者 吉村則次

ドリーム ▶



イタリア奇想曲 ▶



設立から24年

堺ハーモニカ・アンサンブルは、まる24年前の1998年12月に設立されました。

小林泰子さんという方が発案し、受講者を集めて、堺市北区の金岡公民館を練習会場と設定し、講師として私を迎えて、始まりました。

設立当初からのメンバー延べ数は24人。現在のメンバーは、指導者を含め14名です。

ここまで長く続けられたのは、参加者がハーモニカそのものの魅力を感じてくれたこと、音楽をいっしょに演奏する楽しみを感じてくれたことであり、毎日の日常から非日常を得られること、出来なかつたことが出来るようになり進歩を感じられること、有能な、積極的なメンバーに恵まれ、各メンバーの家族、会場（金岡公民館）等のご協力があったからこそ、と感謝しております。

まわりに何もない金岡公民館

練習場所金岡公民館は、堺から奈良への街道の一つ、竹内街道に面しています。金岡という古い集落にあって、真っすぐな道は存在せず、周りは住宅と農協と小学校があるだけで、飲食店等は一つもありません。地下鉄新金岡駅、南海電鉄中百舌鳥駅、バスは地下鉄新金岡駅前等の駅・停留所いずれからもある程度の距離があり、あまり便利という訳には行きません。車は無料で止められます。

五線譜による演奏は我々の強み

もともとから、クロマチック・ハーモニカによるアンサンブルですから、楽譜は五線譜を使用しています。ですから、市販のフルート合奏用楽譜、バイオリン合奏用楽譜、リコーダー用楽譜等をハーモニカ用に書き直すことなく、単にコピーして使用できるので、楽譜には恵まれています。私が持っている数多くの楽譜の中から、メンバーのレベルに応じた曲を選択して使用しています。まずパート別に見本を作製し、それをCDに入れてメンバーに渡し、練習を開始します。アメリカのハーモニカ奏者が編曲した楽譜、ヨーロッパで発行されている合奏用楽譜を含め多く購入して持っていますので、国内の他のいかなるハーモニカ・アンサンブルも演奏していない曲を演奏しています。すなわち、我々が演奏するほとんどの曲が「ハーモニカバンドによる本邦初演」ということになります。今回、当連盟のホームページに上げていただいたものは、2022/5/21のフェニーチェ堺小ホールでの、堺市生涯学習交流サロンのスプリング・フェスティバルでの、ジョニー・マーサ作曲の「ドリーム」とチャイコフスキー作曲の「イタリア奇想曲」です。どうぞお聞きください。

メンバーの源は、堺自由の泉大学

メンバーの多くは、堺市が主宰している堺自由の泉大学のハーモニカ・コースの出身者で、これも我々が長く続けられている要因の一つと言えます。

堺自由の泉大学は、毎年「広報さかい」等によりクロマチック・ハーモニカの受講生を募集しており、毎年10人前後の応募があります。そのうち2~3年を経過したものの中から、当アンサンブルへの参加希望者が出て来ます。

コロナ禍での活動

定員30名の練習会場は、コロナのため定員15名となっていました。それでも14名の我々には最適の練習会場です。公民館に入るときには、体温測定、手の消毒、マスク着用が求められ、練習後には、机、いすをアルコールティッシュで拭います。コロナ禍の中で、公民館が一時閉鎖されたことがありましたが、幸いにも「ハーモニカはだめだ」と言われたことはありませんでした。

堺市の公民館は、使用料は無料です。これも我々が、恵まれた、長続きする、理由の一つです。冬でも暖房が不要なくらい、日当たりのいい、温かい部屋です。

竹内街道では、自動車、オートバイ、救急車が走りますので、「録音ができる」ような、状況ではありませんが、練習にはなんら差支えありません。

関西ハーモニカ祭りは楽しみであり、目標でもある

毎年、当連盟のハーモニカ祭り、日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会の定期演奏会、それに、堺市北区役所の区民ロビーコンサート、金岡公民館祭り、堺生涯学習サロンのフェスティバルには参加しております。

これらがあるからこそ、練習に張り合いと目標ができて、育てられたものと思います。

メンバー 14 名の構成

堺市のものが11名、あとは堺周辺のものです。

男女別人数 男性 3名、女性 11名 年齢は不詳です。

第3回アンサンブル・ハモニ館 ハーモニカコンサート開催御礼

ハモニ館 吹上晴彦

今回のコンサート開催にあたりご来場の皆様、関西ハーモニカ連盟、スタッフの皆様に深謝申し上げます。私自身の不摂生でメンバーに迷惑をかけました。当日終演時に挨拶でも申し上げましたが、度重なる手術を経ての本番でステージに立てるかどうかとの想いでした。しかし、それも杞憂に終わり、ほんとうにありがとうございました。

良きメンバー、当日お手伝いのスタッフ、舞台稽古およびアンサンブル練習時に何度も来てスタッフとりまとめ頂いた丸山茂生さん、そして、素晴らしい観客の皆様に恵まれて無事終えることができました。

オープニング「里の秋」にあわせての司会メッセージ、わずか1分ほどのデュオですが一瞬腰の不調、立ち位置を取り直して「月メドレー」を終えました。デュオ・ユットラと比較にならないほどの練習を重ねたヴェキアスのデュオ演奏と続きました。その後は自分の出番だけで精いっぱい、一部のステージが息つく間もなく終わった感覚です。

一部のプログラムに詩吟を入れました。これは今年10月16日の「関西ハーモニカ祭り」本番中に逝った母が、中学生の頃に悪ガキだった私に多くの念いをもって漢詩の先生の元に連れて行き習わせたのが漢詩朗詠で、以来、今も続けています。ステージでは漢詩家松口月城 作の「名槍日本号」を朗詠、それを受けハーモニカ演奏 小林希久子さんの「黒田節」と続きました。「黒田節」は奏者の祖父、みなさん周知の小林忠夫先生の編曲です。希久子さん的大好きな忠夫先生と母が同じ月命日、浅からぬ因縁を感じます。誰もそうでしょうが、とりわけ母に心配をかけた私にとって、この世に多くの母が居ますが「我が母に勝る母なし」の想いで



す。

一部ステージでは、エネルギーを出し切った感です。二部はアンサンブル・ハモニ館のステージ、メンバーの頑張りに引っ張られて終えることができました。「一部も良かったが二部がもっていったなあ」とのお声も聞き、アンサンブルコンサートは成功だったと思います。プログラム最後の嵐（グループ）が歌っている「ふるさと」では、唱歌「ふるさと」挿入部で会場からの歌い声、アンコール「涙くんさよなら」では歌い声とともに会場とステージがひとつになっていました。涙していたのは私だけではありませんでした。

小林由美子先生のもとには、ホールのトイレとエレベーターが狭いことの苦情以外は、良かったとの多くのお声でした。また、面識のない女性から長い達筆な毛筆の文が届きました。

80歳を超えて初めてのハーモニカコンサートの出会い「こんなにこの世界の素晴らしいを



初めて知り感動・・・・・・音色は勿論ですが由美子様の心温まるご指導とハーモニカへの愛情・・・最後のアンコールで自然と涙が出てきました。こういう気持ちを与えていただいた貴女に深く深く感謝致します。この年ですが人生の勉強をさせて頂きました。重ね重ね有り難うございました」として次回を楽しみにしている旨も書かれておられました。

私の携帯電話にも続々とメールが入り、「楽しいコンサートだったのでまだまだ聴きたいと思いました」「日本ハーモニカ賞に推薦したい、それに値する素晴らしいアンサンブル、全国にアピールするときです」「小林先生の多才な姿が感動的でした」「満席のホールは情熱の演奏につつまれました。思わず漏れる客席の感嘆と幸せの笑顔はすべてを物語っていました」そしてお客様を送り出したスタッフからは「演奏者

に対する愛情、リスペクトを実感した」「良かった。楽しかった。凄かったと感想を言いながら帰られた」・・・。

アンサンブルメンバーのもとにも多くの感想が寄せられており「ハーモニカの大アンサンブル凄かった。感動的で、その感動が三日も四日も残っている」「交響

楽団と変わらないボリューム」「みんなの拍手が暖かかった」「みんなが楽しそうに演奏していて、会場と一体化していた」等のありがたい感想をいただきました。

由美子先生の想いは、プログラム表紙に配した虹、月の光により生じる虹を「月虹」といい「見ると幸せになる」といわれています。来場者、コンサートに関わる皆さんに幸せになって欲しい、そのような想いで「月メドレー」を演奏しました。毎回そうですが5年を経た今回は、ことさら多くの方々に創り上げていただいたコンサートでした。メンバーのもとに今度いつするのと問われましたと聞き、出演者18人がソリストとなったコンサートでもありました。いくら言葉を重ねても言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。



上記コンサートは2022年11月13日(日)に伊丹アイフォニックメインホール(502席)で盛況に開催されました。バイタリティと楽しさに溢れ、舞台と観客席が一体になっていたことを報告いたします。ホームページの「本連盟後援コンサート等アルバム」に当日のプログラムと印象的写真が紹介されていますのでご覧下さい。(編集局 鐘ヶ江)

ハーモニカをポケットに⑧¹ 敦賀～糸魚川 320km の旅

木原 淳



図1：今回のコース略図

ハーモニカをポケットに走ったり歩いたりの旅、8回目です。コロナ自粛で出かけられず、過去の旅を書きます。2015年8月、敦賀から糸魚川までの9日間、320kmの旅でのハーモニカが取りもつ出会いの数々です。

1. 敦賀駅スタート

敦賀駅のスタートはいつもと全く違って賑やかだった。この日はTVのロケを兼ねていたのである。私と一緒に走る漫才師の二人にカメラマン、スタッフ総勢7人と家族を含め11人が早朝6時に集合。車と自転車、3人のランナーが39km先の越前厨を目指して出発。漫才師とはいえ二人は若く陸上部と野球部出身で、私の遅いペースに合わせるのは苦労したと思う。でもさすがプロだ。長い道中で私を最後まで楽しく走らせてくれたのである。この日のロケの内容は、後日30分番組の中で15分TV放送された。たった15分の放送を前日の宇治での撮影を含め1日半かけてだから、番組作りは大変だ。

2. 越前の井沢八郎

2日目からは一人旅である。越前を6時半に



図2：梅浦漁港で（矢印が越前の井沢八郎）

出て三国まで40kmのコース。出発して間もなく、梅浦漁港のことである。小さな小屋で4人の男性が話している。早朝の港では男性ばかりで井戸端会議ならぬ磯端会議をしているのによく出会う。私も飛び入り参加。そのうち一人が「俺は若い頃は越前の井沢八郎と呼ばれていたのだ」と言い出した。「東京である飲み屋に入った時、店のマスターが『井沢さん、忘れ物？』と俺にきくんだ。驚いたよ。マスターは井沢八郎さんが帰ったとこに私が入ってきたので間違えたそうだ」と、井沢八郎に間違えられた話をした。別れる前に「ああ上野駅」を吹いて、皆に歌ってもらった。磯端会議はほんとに楽しい。

3. かほく市の中学生達との出会い

5日のこと、金沢から羽咋に向かってかほく市の河北台中学校を過ぎた辺りのことである。後ろで足音がする。振り向くと中学生の男子が私の後ろをつけていたのである。私が一見してよそ者だから興味を示したのだろう。卓球部の部活を終えて帰宅するところだという。話ながら歩いているとまた一人の男子が追いついて



図3：河北台中学校の男子と

きた。同じ卓球部だという。3人で歩いていると、またまた一人が走りながらやってきた。「どこからきた?」「なにをしているの?」など質問攻めにあう。別れ際に「小さな世界」を吹いた。しかし、男の子3人でも結構姦しいものだと思った。

4. 七尾港の花壇

6日目は和倉駅から氷見までの40kmのコースである。風もなく波一つない静かな七尾湾のことだった。海の傍にしては珍しくきれいな花壇が長く続いている。先の方で女性が水やりをしていた。声をかけると、ボランティアで毎朝水やりをしているとのこと。「これだけ長い花壇だと大変でしょうね」といしながらしばら

く会話を。ハーモニカを吹きたくなり聴きたい曲をたずねると、父が好きだった「あざみの歌」のリクエストがあった。静かな七尾湾、きれいな花壇の前で吹けたのは気分がよかつた。演奏後、その女性は有難うと何度もいい、目頭を押させていた。お父さんを思い出されたのであろうか。

5. ペンギンとチョウザメ

8日目の富山から入善39kmのコース途中、魚津の水族館で休憩していた時である。ペンギンの水槽があり数匹のフンボルトペンギンがいた。試しにペンギンにハーモニカを聴いてもらった。音が聞こえたのか目を開けたがすぐに閉じてしまった。全く興味ないよという感じだ。次に円形水槽にチョウザメとイトウが泳いでいた。ハーモニカを吹くとイトウは逃げたが、チョウザメは近寄ってきた。場所をかえてもチョウザメだけが寄ってくる。エサがもらえるかと思っているのかもしれないが、イトウは逃げて行ったのだからそうではない。ハーモニカの音を聴いているのだと勝手に思うことにした。

今回の旅は、人家の少ない場所が多かった。道を歩く人はとても少ない。それでも数少ない出会いだからこそ、ハーモニカが結び付けてくれる縁は有難い。ハーモニカに感謝。



図4：七尾港のボランティアと



図5：魚津水族館のペンギン水槽で

発表会・演奏会対策①

～発表会や演奏会などの本番に向けての練習や準備について～

北村サユリ

発表会や演奏会に出演される方もいらっしゃると思いますので、本番に向けて確認しておきたいことや練習しておきたいことを箇条書きにまとめてみました。

- 曲調などにもよるが、カラオケのテンポ（または演奏したいテンポ）の、±5から10の速さでも練習しておくこと。
※テンポは、生演奏なのかカラオケを使用するのか、また、曲のテンポや曲調等によって適宜判断してください。
- ハンドマイク（マイクを手で持つ演奏スタイル）の方はマイクを持って演奏すること、スタンドマイクを使用される場合は本番と同じマイクのセッティングをした上で演奏することに慣れておく。
※マイクはなるべく本番と同じ機種のものがよいです。また、必ずケーブルを接続した状態にしておいてください。ハンドマイクの場合は重さが変わりますし、スタンドマイクの場合はケーブルによって見えなくなる部分がないか確認ができます。
- 立って演奏する場合は、立位での演奏に慣れておく。
※足でリズムキープされる場合は、立位でも安定して行うことができるか確認、練習しておいてください。
- 会場に行ったことのある場合は会場の雰囲気を思い浮かべたり、会場の風景写真などがある場合は確認しておく。また、演奏がはじまる前段階から（ステージに上がって準備をするなど）シミュレーションしておくとよい。
- 普段の練習を基礎練習から始めている場合でも、いきなり曲から練習してみる。
- 本番で使用する眼鏡（老眼鏡など）、慣れている譜面台の高さや角度で練習をする。
※本番では、演奏前に譜面台の高さをチェックし、必要があれば修正することをお忘れなく。
- 本番で着用する衣装は、肘などが動かしにくいものではないかを、期日に余裕を持って確認しておく。
※サイズが変わってしまっていないか、また、特に男性が着用されるようなジャケットは、肘や肩が自由に動くか確認しておきましょう。
- 本番で履く靴（屋内の場合はスリッパなど）を履いて演奏することに慣れておく。
※特に、足でリズムキープされる場合は、普段と同じような動作ができるかを確認しておいてく

ださい。

- ・譜面が複数枚になる場合は必ずテープ等で止めておく。また、4枚以上になる場合はなるべく3枚までにまとめるか、ページをめくるタイミングを予め決めて練習しておく。
- ・プレスや唇をペロッと舐める位置を決めておく。
※緊張で唇が渴きやすくなったり息があがりやすくなることも考えられるため、少し多めに設定しておくと安心です。
- ・細かいフレーズや、ミスが多かったり音が濁りやすい箇所は、半分くらいのテンポでもスラスラ演奏できるようにしておく。
※超スローテンポでミスをする箇所は本番でも間違えやすいです。
※個人的には、曲にもよりますが最初から最後まで半分くらいのテンポで通して演奏してみるのもお勧めです。普段ミスがなくても本番で間違いやすい箇所を洗い出すことができます。
- ・夏場であっても冷え対策をしておく。
※緊張して手足が冷たくなった経験がある方も多いと思いますが、逆に冷えることで緊張を増幅させてしまうことがあるようです。

本番を楽しむために自宅で行うことのできる対策を、思いつく限り記してみました。十分に対策をして演奏を思いっきり楽しんでください。少しでも参考にしていただけましたら幸いです。



大阪 道頓堀並木座で ハーモニカと中国琵琶のコラボ演奏

寺村安雄

中国琵琶奏者エンキさんの紹介で日中友好親善の目的のハーモニカと中国琵琶の共演会を八月二十六日と十月二十六日に催しました。エンキさんは日本のみならずアジア周辺で演奏活動され、本国の中国では「海外で活躍されている遊子」として紹介される中国琵琶奏者です。今、大変緊張を強いられる世界に変貌しています。エンキさんも心を痛められ、今回の演奏会となりました。道頓堀の並木座は江戸時代の芝居小屋の雰囲気を漂わす小さな三十席未満のノスタルジーミュージアムです。ロシヤがウクライナ侵攻以降、私は全てのコンサート、イベント等では反戦歌をハーモニカで演奏しています。特に母親が戦地に赴く息子に向かって、必ず無事に帰ってきておくれと願った『ダニーボーイ』をロシヤとウクライナに届くように思い切り吹き叫んでいます。ギターの名曲『禁じられた遊びより（愛のロマンス）』を中国琵琶伴奏のコラボです。そしてそれぞれ得意なソロ演奏と合間に永い日中間の交流の歩みのコメントを入れています。



日本の精神的土壤を養った仏教は鑑真和尚の幾多の試練を乗り越えての伝来、そして漢字の伝来、日中間は切っても切れない深い間柄です。世界の市民はどこの市民とも仲良くしたいと思っています。そのようにならなければ、政治権力者の自己の権力の保持と権威の誇示が為せるものでしょう。権力者は一般市民の安全や、豊かな社会への関心には二の次なこと等でしょう。このような思いが天に届いたのか、道頓堀並木座で本年二月、四月も二人でコラボします。



■第31回ハモ祭りではコロナ対策のため団体会員グループ（アンサンブル）は、出演を自粛しましたので、ホームページで演奏いただけるように仮想（バーチャル）ステージを作りました。応募要項には掲示期間を1年と明記しておりましたので、この仮想ステージを2022年10月をもって削除しました。第32回ハモ祭りではアンサンブル演奏が可能となりましたので、バーチャルハモ祭りの役割は、終了したことになります。記録として残したらとの意見もありましたが、惜しみつつ掲載を終了しました。出演されたグループにはお礼を申し上げます。2023年1月号からは「教室音便り」ステージを作りました。これはバーチャルハモ祭りのノウハウを継承したものです。是非、検索してご覧ください。（鐘ヶ江義行）

■購入して7, 8年愛用していたビデオレコー

ダーが先日突然壊れました。メーカーによれば修理はできるが、保存されているデータの復元はしない、復元したい場合は業者を紹介すること。紹介された業者に訊くと、映像復元にかなりの金額がかかることが分かりました。是非残しておきたい映像があったが、費用と天秤にかけビデオレコーダーは廃棄処分にしました。パソコンやスマホのバックアップには十分対策している者として不覚でした。皆様も日常パソコンを多用されていると思いますがそれらはいつか必ず、そして突然に壊れます。大事なデータが消えたら、復元にはかなりの費用が必要。故障は納得できるが、先日大阪の某病院で発生したようなランサムウェアによる被害が個人におよぶ可能性も十分あります。連盟HPに「誰にでもできるパソコン等の安全対策」のような記事掲載を考えています。（筒井茂義）

次号 締切日

次号 第232号（2023年4月号）
原稿締切りは2月17日（金）、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは3月10日（金）発行は3月下旬の予定ですが
諸事情により変動する場合が有ります

お知らせ

当連盟が事務所を置いている西栄ビル2Fが事情により2月以降使用できなくなります。ふんふんさんも閉じられます。当連盟へのお問い合わせ等は、下記に連絡頂きますようお願い致します。（事務局）

関西ハーモニカ連盟 会報 第231号（2023年1月号）

発行人 吹上 晴彦（理事長）

編集人 もり・けん（編集局長）

事務局 源馬 英人（事務局長）〒520-2101 大津市青山8-6-14

TEL(Fax)077-549-3329 e-mail: kansai.harmonica@gmail.com

公式ホームページ: <https://kansai-harmonica.org/>

印刷・製本 株式会社カード & メディア





KANSAI Harmonica ASSOCIATION